

より多くの子どもたちに届けたい。悩んでいる人たちの救いになりたい。

“心を育む”物語を、社会へ届けるために。

文科省・映倫推薦作「郷^(ごう)」全国公開のご案内

鹿児島出身監督伊地知拓郎による、すべて鹿児島県内で撮影された、高校球児の挫折と再生の物語。一人の人生を通して、誰にでも起こりうる何気ない日常を描いています。人生には思い通りにならないことが起き、予期せぬ困難と闘いながら今を懸命に生きている。そんな主人公の姿が、観る人の心にそっと寄り添い、背中を押してくれるはず――。

様々な国際映画祭で高評価を得て、現在全国の中学・高校で「いじめ問題を考える」「命の大切さ」「人権啓発」などの教材として活用頂いている作品です。**実際に、不登校や自殺を考えている子どもたちから「この映画を観て考えが変わった」「この作品に出会えて良かった」「もっち色んな世界を見てみたい」という言葉をたくさん頂いています。**とくに悩んでいる人たちの心に寄り添う作品になっていると思いますので、ぜひこの機会に、そういったお子さまや、また子育てに悩んでいる親御さんへ周知いただけますと幸いです。

【作品情報】

文科省&映倫推薦映画『郷(ごう)』鹿児島が舞台の映画！

～高校球児の挫折と再生、ぼくたちはどう生きるか～

【日程】2026年1月2日(金)より約2週間

【場所】鹿児島先行ミッテ10(鹿児島市中央町1-1 アミュプラザ鹿児島 本館 6F)

※初日舞台挨拶あり。劇場HPにて要予約。

1/9(金)より全国公開(東京、名古屋、京都、大阪、福岡、宮崎など)

監督・脚本・編集:伊地知拓郎

プロデューサー:小川夏果

【予告編】<https://youtu.be/-qYm16Vo2Eg?si=FlgkzcC2ZVDiM3Gd>

【ニュース】<https://youtu.be/xB7Uaf9DNF0?si=ahHidKR1yV2B6nPV>

【公式HP】<https://www.goumovie.com>



PTSD・不登校の経験者が描く、私たちはこの競争社会の中で何を感じ、どう生きていくか？
疲れた時は休んでもいい、失敗した時は立ち止まっていい。きっとこの映画が教えてくれる。

【お問い合わせ先】

LETHEANY(レシアニー)

始良市脇元492

代表:小川 090-1132-7170

yoyaku@letheany.com

PTSD・不登校を経験した制作陣が描く、自分の居場所

映画

「郷」

鹿児島ミツテ10

高校球児、心の叫び——

セリフを極力なくし、映像と音でつづる新たな映画体験を通して
生きている意味、自分の幸せを見つける。

辛かったら逃げてもいい、失敗してもいいんだと

きつとこの映画が教えてくれる。

これは、懸命に生きる私たちへの道しるべ。

2026

新春特別上映

1月2日(金) →

約2週間上映

15:00~17:05初日舞台挨拶開催
登壇:伊地知拓郎監督、小川夏果プロデューサー・女優

※上映時間は劇場HPをご覧ください。

ムビチケ前売券販売中

お問合せ: LETHEANY 鹿児島県始良市脇元492 TEL.090-1132-7170 (担当: 小川)
劇場案内: 鹿児島市中央町1-1 アミュプラザ鹿児島 本館 6階

令和6年2月
文部科学省推薦作
(科目「生き方」「人生設計」)

映倫 次世代への映画推薦委員会 推薦作品

